

## 高齢者権利擁護シート 記載方法

### 1.活用の目的

介護者から高齢者等に対して不適切なケアが行われていた場合、介護支援専門員がケアマネジメントの中で、早期に発見し、適切な対応を行うことで、問題の重度化を防ぐことができる。

### 2.対象者

介護者等による不適切な対応が疑われる高齢者等

### 3.実施者

介護支援専門員

### 4.シート活用の機会

アセスメント・モニタリング時

### 5.記入方法

- ①対象者氏名・記載日を記入する。
  - ②記載者・事業所名・連絡先を記入する。
  - ③項目に当てはまる箇所があれば、チェックする。
  - ④その他、気づいたことがあれば、特記事項に記入する。
- ※印は、特に留意すべき事項です。

### 6.対応

※項目に複数該当する場合や、上記項目に関係なく、虐待の兆候（あざ、体重減少、サービスの利用制限など）がある場合は、早期に高齢者の住む圏域の地域包括支援センターへ相談・報告し、連携して対応する。

#### 【セルフネグレクト】

高齢者が、通常一人の人として生活において当然行うべき行為を行わない、或いは行う能力がないことから、自己の心身の安全や健康が脅かされる状態に陥ること。

#### 【共依存関係】

高齢者と特定の相手がある関係性に過剰に依存し、その人間関係に囚われている状態。